

史学委員会 文化財の保護と活用に関する分科会（第 24 期・第 5 回）

議事録

日時：令和元年 12 月 25 日（水）13 時 00 分～15 時 30 分

場所：日本学術会議 6－A（2）会議室

出席者：出席者：福永伸哉（委員長）、佐藤宏之（副委員長）、臼杵勲、大久保徹也、小畑弘己、菊地芳朗、芳賀満、平澤毅、藤尾慎一郎、松田陽、宮路淳子

欠席者：井上洋一、福永香、松本直子、村上恭通

書記担当：宮路淳子、菊地芳朗

事務局：牧野敬子

議題

（1）前回議事要旨の確認

前回の議事録を確認し、これを承認した。

（2）第 24 期の意思表出について

菊地委員から文化財防災をテーマとして、以下 3 点を骨子とした意思表出を行う案が説明された。

①国は、日本の災害対策の最上位計画である「防災基本計画」を改定して、災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興の各項目にわたって文化財に関わる記載を加え、建造物の防火及び災害発生後の救援に中心が置かれた現在の文化財防災から、未指定のものも含む文化財全般を対象とした日常的な災害予防と減災を図る体制に転換すること。

②国は、文化財防災等に取り組む唯一の全国的事業である「文化財防災ネットワーク推進事業」に対し今後も十分な予算的措置を講じ、文化財の防災・救出・保全に関する体制づくり・調査研究・人材育成等を一層推進すること。

③国は、国内外の行政機関、研究機関、民間の組織・団体等の中で、文化財防災に関する情報を広く共有する体制を確立し、世界の文化財防災ネットワークを主導すること。

審議の結果、改正文化財保護法において法定化された「文化財保存活用大綱」に文化財防災について記載することが文化庁指針で示されたこと、令和 2 年度予算（政府原案）において「文化財防災ネットワーク推進事業」への予算措置が継続される見通しとなったこと等、状況が流動的であることから、今期は意思表出ではなく、「記録」として審議の内容を遺すこととした。「記録」は文化財保護法改正及び文化財防災に関する審議内容をおもな

項目として作成する方針とした。また、旅費が不足しているため、年度内の開催は今回が最後になると思われるので、「記録」の作成作業は、委員長を中心にメール等を通じて進めることとした。

(3) 第 25 期の会員候補、連携会員候補の推薦について

委員長から会員候補、連携会員候補の積極的な推薦について要請があり、事務局から推薦方法について補足説明があった。

(4) その他

とくになし

以 上